

説明用資料

東京都日本歯科大学校友会令和元年度定時総会

令和2年6月13日（土）

令和元年度校友会功労者、米寿会員表彰、受賞者 P 3～P 4

令和元年度の校友会功労者、米寿会員表彰、受賞者の先生方おめでとうございます。今年度は校友会功労者、米寿会員表彰は総会での顕彰式ができません。表彰状、記念品はお送りさせていただきます。受賞者の先生方は1月の新年賀詞交歓会でお祝いをさせていただきました。

1. 会務報告

(1) 庶務

庶務報告

会員数は1498名（昨年度より34名減）P 5をご確認ください。

会務報告

P 6～P 9をご確認ください。

会費免除者・減免者

会費免除になられた先生方です。P 10をご確認ください。

新入会員

入会順です。P 11をご確認ください。

逝去会員 P 12

謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

令和2年度事業計画

新型コロナの影響で事業は計画通りできない可能性があります。

P 13をご確認ください。

(2) 会計・共済

令和2年度一般会計収入支出予算

P 14、資料1をご確認ください。

共済報告

P 1 5 をご確認ください。

令和2年度福祉共済会計収入支出予算

P 1 6 をご確認ください。

(3) 学術

学術部より令和元年度の事業報告をさせていただきます。会員の先生方におかれましては、平素より学術部事業にご理解ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。学術部は、臨床に密接に関係している学術分野の事業を担当しています。7名の学術委員の先生方と連携をとり、会員の先生方にお役立て頂けるよう、今年度は、4回の委員会、部会、また2回の学術講演会を開催いたしました。まず、第1回学術講演会ですが、令和元年7月18日（木）本学九段ホールにて午後7時から開催いたしました。薬剤性顎骨壊死～知っておくべき薬・予防・対策～という演題で日本歯科大学生命歯学部口腔外科学講座主任教授の里見 貴史先生にご講演いただきました。次に、第2回学術講演会ですが、令和元年11月27日（木）本学九段ホールにて午後7時から開催いたしました。もう慌てない小児の歯の外傷～かかりつけ歯科医に必要な知識のアップデート～という演題で、日本歯科大学附属病院小児歯科科長・准教授の白瀬 敏臣先生にご講演いただきました。両会ともに100名あまりの先生方にご参加いただきました。また、三回目の講演会につきましても令和2年3月5日に開催予定でしたが、コロナウイルスの感染拡大の為に中止とさせていただきます。また令和2年度ですが例年通り秋までに、講演会の開催を予定しています。コロナウイルスの蔓延状況により開催については未定ですが、決定次第ご案内いたします。今後とも学術部といたしましては、会員の先生方にお役立ていただけますよう学術講演会を企画してまいりますので、先生方にはご協力の程よろしくお願い申し上げます。

(4) 保険

保険部より令和元年度の事業報告をさせていただきます。会員の先生方におかれましては、平素より保険部事業にご理解ご協力いただきまして、誠にありがとうございます。保険部は保険診療、保険請求関係などの事業を担当しております。これらに対して正確かつ迅速に対応できるよ

うに、保険委員 9 名、 社保国保審査員の先生方と連携し、各種事業を展開しております。令和元年度の事業としまして、5 月 22 日(水)に九段ホールにて「歯科医療訴訟の現状とその対応」という演題で日本歯科大学附属病院 病院長 三代冬彦先生(72 回卒)を講師にお迎えして時局講演会を開催いたしました。10 月 24 日(木)に九段ホールにて「安定経営に導く保険請求」という演題で、講師に国保審査委員 秋池成律先生(75 回卒)、社保審査委員 青木徳久先生(77 回卒)、東京都歯科医師会 社会保険担当理事 小野沢真一先生(68 回卒)の 3 名をお迎えして第 1 回保険講習会を開催いたしました。令和 2 年 4 月 1 日に富士見ホールにて「令和 2 年度診療報酬改定の概要」という演題で東京都歯科医師会 社会保険担当理事 小野沢真一先生(68 回卒)をお招きし第 2 回保険講習会の講演をしていただく予定でしたが新型コロナウイルスの感染拡大による会員の安全を考慮して中止となりました。なお本講習会で使用する予定の配布資料は特例として全ての会員の先生方に配布させていただきましたので、診療室で活用していただければ幸いです。講演会以外の事業として、東京都校友会の会誌富士見に、「知っていますか保険のいろは」を連載しております。毎回、保険請求に関わるポイントをできるだけ分かりやすくお伝えできるよう、保険委員の先生方にご協力いただいております。富士見をご覧になる際には、知っていますか保険のいろはもご一読いただければ幸いです。以上の保険事業にあたりましては、保険委員会を 4 回、保険委員会拡大会議を 1 回開催して準備いたしました。ご協力いただきました保険委員の先生方、社保国保の審査員の先生方にこの場をお借りして厚く御礼を申し上げます。ありがとうございました。最後になりましたが、保険部といたしましては、今年度の保険講習会等々、先生方のお役にたてるような事業を企画してまいりますので、ご協力、ご参加のほど、よろしくお願い申し上げます。

(5) 広報

広報部は事業計画に明記されているように会誌「富士見」の編集・発行を担当しております。今年度はまず平成 31 年 4 月 26 日に富士見 186 号を発行いたしました。6 月には新執行部が発足し、鶴殿(新宿・75 回)と松尾(北多摩・76 回)が広報担当理事に就任しました。同時に広報委員も新たに 5 名が選任されました。令和元年 9 月 20 日に新しい体制で富士見 187 号を発

行いたしました。さらに12月27日には富士見188号を発行し、事業計画通り富士見を3回皆様にお届けすることができました。富士見発行の他、ホームページ部門も広報部が担当しております。随時内容を更新しておりますので、「東京都日本歯科大学校友会ホームページ」を是非ご覧ください。今後も内容の充実に努めてまいります。最後になりましたが会誌「富士見」は会員の先生方のご理解・ご協力なくして発行出来ません。原稿執筆をお願いいたしました折には、何卒よろしくお願い申し上げます。

(6) 渉外

なし

(7) その他

なし

1. 監事報告

資料2 監査報告書をご覧ください。

1. 日本歯科大学校友会第133回定時総会報告

校友会本部の総会は5月23日（土）に書面審議で行われ、原案通り可決確定しております。

詳細は各連合会から出られている評議員の先生にお尋ねください。

1. 議題

第1号議案 令和元年度一般会計収入支出決算

P17、資料3をご確認ください。

第2号議案 令和元年度福祉共済会計収入支出決算

P18をご確認ください。

第3号議案 令和元年度東京都日本歯科大学校友会団体所得補償保険集金事務費及び宣伝

広告費収入支出決算

P18をご確認ください。

第4号議案 令和3年度入会金・会費 P19

会務は、コロナウイルス感染拡大の影響下でも運営していかなければなりません。固定費の

支出、共済金の支給などがあります。今回は例年通りの入会金・会費を提案させていただきますが、年度末には会務の執行状況が把握できます。それを考慮したうえで、来年度の会費は減額することを考えております。

今年度（令和2年度）の会費は、昨年6月の平成30年度総会で決定されており、その額を納入していただきます。しかし現状は厳しいので、以下の救済措置をとります。会費納入期限を従前の7月から3か月延長して10月にする。今年度会費納入ができない先生は、来年度に過年度会費として支払っていただく。この場合、2年会費未納で自動退会という制度を、無条件に3年まで延ばします。

1. 協議 P19

なし

監 査 報 告 書

東京都日本歯科大学校友会
会 長 渡 邊 儀 一 郎 殿

監事は、平成31年4月1日から令和2年3月31日までの令和元年度における職務の執行を監査いたしました。その方法および結果につき以下の通り報告致します。

1. 監査の方法及びその内容

監事は、役員および職員と意思疎通を図り、情報の収集および監査の環境の整備に努めるとともに、役員会およびその他重要な会議に出席し、役員および職員等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な稟議書類・会計書類等を閲覧し、業務および財産の状況を調査いたしました。以上の方法に基づき、当該業年度に係る事業報告およびその附属明細書・会計報告に係る計算書類・附属明細書について検討いたしました。

2. 監査の結果

(1) 事業報告等の監査結果


事業報告およびその附属明細書は、法令および会則・諸規則に伴い、本会の状況を正しく示しているものと認めます。


(2) 計算書類等の監査結果

会計報告およびその附属明細書は、法令および会計規則に従い適正に作成、整理並びに管理され、適正に表示されているものと認めます。

令和2年5月14日

東京都日本歯科大学校友会

監 事 小 谷 善 夫 

監 事 深 堀 正 夫 

令和2年度予算概要

収入の部

1. 会費

令和2年2月7日作成時

総会員数(1,508名)－会費免除(350名)－会費未納者(5名)＋入会見込み(20名)＝1,173名

1,173名中2種に該当する者が72名(家族会員：55名 勤務医会員：17名)

会費納入者数1,194名→1,173名(21名の減)

1種会員 1,127名→1,101名(26名の減) 17,000円×26名＝442,000円減

2種会員 67名→72名(5名の増) 10,000円×5名＝50,000円増

合計392,000円減

2. 入会金

入会見込20名 5,000円×20名＝100,000円 前年同様

3. 繰入金

団体所得補償保険集金事務費及び宣伝広告費からの繰入額

令和2年度 4,800,000円繰入

H21	5,500,000円	H25	6,000,000円	H29	5,500,000円
H22	5,500,000円	H26	3,000,000円	H30	4,500,000円
H23	6,000,000円	H27	4,000,000円	H31(R1)	4,700,000円
H24	6,000,000円	H28	6,000,000円	R2	4,800,000円

令和元年度比 100,000円増

4. 雑収入

令和元年度比 900円減

5. 繰越金

令和元年度比 1,000,000円減

支出の部

事務費

令和元年度比 1,746,640円減

1. 事務所費

前年同様 1,440,000円

2. 給料

事務員の給料

令和元年度比 924,000円減

3. 諸手当

事務員の交通費

令和元年度比 458,640円減

4. 交通費

役員等の費用弁償

令和元年度比 364,000円減

5. 印刷費

前年同様 1,100,000円

6. 通信費

前年同様 1,450,000円

7. 備品費

前年同様 100,000円

8. 消耗品費

前年同様 100,000 円

事業費

令和元年度比 546,860 円増

1. 学術・保険関係費

令和元年度比 788,000 円増

診療報酬改定の年度のため冊子作成の予定。

2. 広報関係費

令和元年度比 41,140 円減

印刷部数減のため。

3. 事業関係費

令和元年度比 200,000 円減

会員名簿・事務手続き便覧の作成なし。

会議費

令和元年度比 124,000 円減

渉外費

令和元年度比 100,000 円増

繰出金

令和元年度比 42,000 円減 (21 名減)

	H30	H31 (R1)	R2
繰出金	2,444,000 円 (1,222 名)	2,388,000 円 (1,194 名)	2,346,000 円 (1,173 名)
補助金	1,000,000 円	1,000,000 円	1,000,000 円

雑費

前年同様 100,000 円

退職積立金

前年同様 100,000 円

予備費

令和元年度比 27,120 円減

	H30	H31 (R1)	R2
予備費	574,740 円	595,070 円	567,950 円
	2.02%	2.08%	2.08%

令和元年度決算概要

1. 収入の部(予算と比較して 93%の達成率)

1. 会費

会費納入者数 1,194 名→1,182 名(12 名の減) 127,000 円減
 1 種会員 1,127 名→1,126 名(1 名の減) 17,000 円×1=17,000 円
 2 種会員 67 名→56 名(11 名の減) 10,000 円×11=110,000 円

2. 入会金

新入会員数 20 名→15 名(5 名の減) 5,000 円×5 名=25,000 円減

3. 繰入金

団体所得補償保険集金事務費及び宣伝広告費からの繰入額
 予算通り 4,700,000 円繰入

4. 雑収入

H31(R1)年度予算比 992 円減

5. 繰越金

H31(R1)年度予算比 1,861,312 円減

2. 支出の部(予算と比較して 86%の執行率)

1. 事務員 3 名中 1 人退職の為、事務費の 2. 給料および 3. 諸手当が各々減

2. 新型コロナの影響の為、講習会・講演会・委員会等の中止が多く

事業費、会議費、渉外費等が各々減

3. 次年度への繰越金

収入合計 26,615,696 円—支出合計 24,547,837 円=差額 2,067,859 円が次年度への繰越金

4. 職員退職積立金

事務員 2 名中 1 人退職の為、退職金を支弁

5. 運営基金積立金

銀行利息 239 円増

6. 災害対策特別基金積立金

台風 15 号と台風 19 号に関して 5 県に見舞金を支弁